

## 第83回 BCP 維持管理研究会 議事録

1. 日 時： 2018年 3月22日(木) 16:00-18:10
2. 場 所： BCAO日本橋事務所
3. 出席者(敬称略) 12名  
小田、葛西、國貞、小林、佐藤、清水、守護、菅谷、種子、徳山、柳谷、中谷(記)
4. 研究内容  
今回は「何時でも何処でも簡単に演習を！」をテーマとして、「くじ引き演習」を小田さんのファシリテータにより実施しました。  
本演習の特徴として、自社組織の部門や拠点単位に参加者が考えたインシデントに基づいて演習を行うため、参加者が主体的に対応・検討できるメリットがある。
  - (1)特徴
    - ・演習の準備が不要である。(紙とホワイトボードのみ)
    - ・要領を覚えれば、誰でも簡単にファシリテータが可能である。
    - ・短い演習時間で訓練可能である。
    - ・演習成果をまとめれば、マニュアルの見直しに活用できる
  - (2)概要
    - ・演習参加者が「くじ」を作る
      - ⇒全員が想定されるインシデントを考えて、箱(BOX)に入れる。
    - ・実現すべきこと(目的)を全員で共有する。
    - ・代表者が箱の中から1枚クジ(発生インシデント)を引く。
    - ・何をすべきか(どのような対応すべきか)ホワイトボードに各自が記載する。
      - ⇒各自がインシデントに対する対応すべきことを思いつくまま書き出していく。
    - ・ホワイトボードの内容をグループ員で整理する。
    - ・振り返りを行い、インシデントに対する問題点・課題を洗い出す。
  - (3)留意事項
    - ・1グループは、数名(3~6名)の少人数で行う。
      - ⇒人数が多い場合は、チーム分けすることが望ましい。
    - ・全員が立ったままで行う。
    - ・重要度が高いタスクに優先順位をつける。
      - ⇒対応すべき順番や重要度を全員で話し合い決定する。
    - ・タスク同士に関連性をつける。
    - ・疑問点や想定しなければいけないことは、確認事項として残しておく。
    - ・ペンディング事項を分類・整理する。
      - ⇒ペンディング事項は、後で必ず調べ全員で共有すること。

(3) 注意事項 <くじ作成時>

・想定した立場により作り方が変わってくる。

⇒ 対策本部の立場

発生するインシデントが中心が良い。(地震、火災、パンデミック、テロ、取引先事故など)

⇒ 現場部門の立場

結果事象を中心に検討する。(建物・設備損壊、社会インフラ長期中断、従業員死亡など)

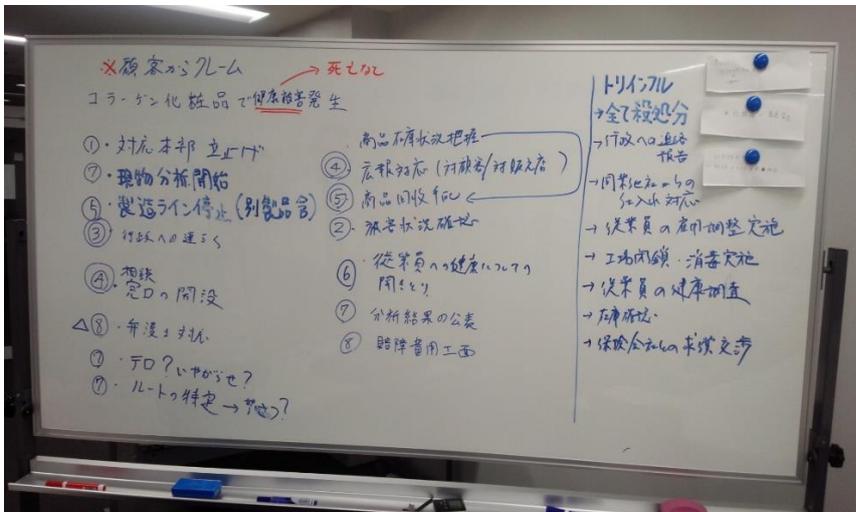
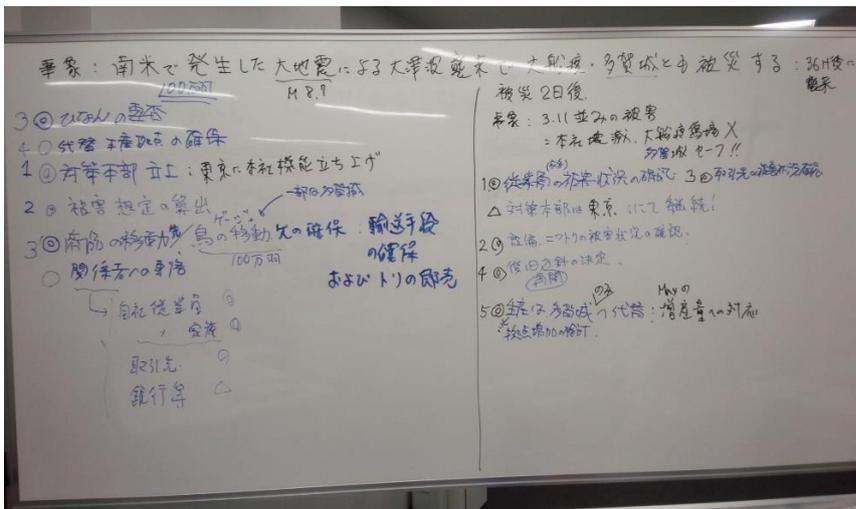
5. 感想

・くじ引き演習は簡単できるが、ファシリテータの役割が大変重要である。

・防災やBCP 演習だけでなく、日常の業務改善活動にも活用できる。

・自社の各部門(小集団活動)として、様々なテーマで積極的に推進したい。

<今回検討中のホワイトボード>



以上